



# 日本品質奨励賞応募要領

---

一般財団法人 日本科学技術連盟  
ISO 審査登録センター

# 目次

---

1. 日本品質奨励賞のご案内	1
2. TQM 奨励賞応募要領	2
2.1 応募から受賞までの日程	2
2.2 応募の方法	2
2.3 応募の費用	3
3. TQM 実践賞（革新賞）応募要領	4
3.1 応募（推薦）から受賞までの日程	4
3.2 応募の方法	4
3.3 応募（推薦）の費用	5
4. 日本品質奨励賞専用サイトのご案内	5
5. お問い合わせ先	5

# 1 日本品質奨励賞のご案内

日本品質奨励賞（Japan Quality Recognition Award, 略称 JQRA）は以下の 2 つの賞で構成されています。授賞の対象となる組織は組織の大小・営利組織・非営利組織，製造業・非製造業を問いません。

## TQM 奨励賞

(Recognition of TQM Achievement, 略称RQA)



TQM奨励賞は、品質の改善が着実に進展しており、さらにその継続と活動範囲の拡大が図られれば、企業の業績が向上し、デミング賞の受賞のレベルに至ると思われる組織の品質マネジメントの取り組みを積極的に表彰し、今後の一層の発展を促す動機を提供することを目的とするものです。TQMを指向している組織においてその展開を速やかに行うための一つの道程として位置付けています。またISO9001規格に基づいた品質マネジメントシステムの審査登録制度が国際的に普及してきましたが、組織がこれを真に有効な経営手段にするためには、この規格の活用に対する工夫と努力が必要です。TQM奨励賞はこの規格に基づいて実効のある品質マネジメントシステムを構築して実質的な効果を上げている組織を表彰し、ISO9001規格の有効活用を広く推進していくことにも役立ちたいと考えています。

## TQM 実践賞（革新賞）

(TQM Growth through Challenge Award, 略称 QGC)



これまで「28組織」が受賞されていましたが品質革新賞を2024年度に刷新し、主に、中小規模の組織がチャレンジしやすい内容へと見直しをいたしました。

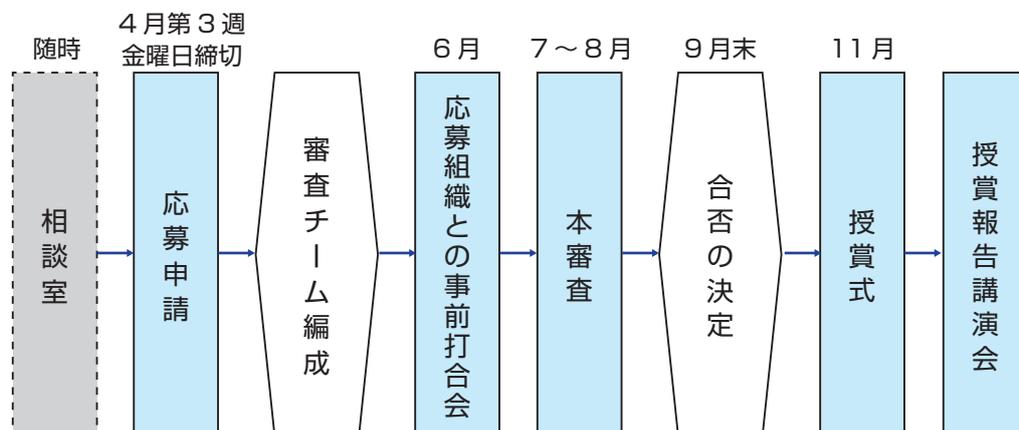
TQM奨励賞が組織全体の TQM 達成レベルを評価するのに対し、TQM 実践賞（革新賞）は、TQMを構成する要素となる『方針管理』『新商品・サービス開発管理』『日常管理』『プロセス保証（品質保証）』『情報の収集・分析と知識の蓄積・活用』『人・組織の能力開発と活性化』等に対するいずれかの取り組みにおいて、「改善活動が進みつつある／業務での活用が一部進みつつある／成果が出始めている」等、部分的ながらも顕在化した状態に対して、有効性／再現性／革新性・チャレンジ性の視点での評価を行なって参ります。

TQM 実践賞（革新賞）は、表彰の内容を公開していくことを通して、その功績を奨励し、表彰された活動のさらなる成長を促すことを目的としています。

## 2 TQM 奨励賞応募要領

### 2.1 応募から受賞までの日程

応募から受賞までの日程は概ね以下の通りです。



### 2.2 応募の方法

応募の募集は年度ごとに行います。当該年度の申込は4月第3週金曜日締切とします。

次に述べる所定の様式に記入の上、日本科学技術連盟内のISO審査登録センター（以下、事務局と略記）にメールにてお申し込み下さい。

- ①「日本品質奨励賞TQM奨励賞応募申込書」（ウェブサイトより様式1ダウンロード）
- ②「応募調査票」（ウェブサイトより様式2ダウンロード）
- ③「実情説明書」（自由書式）

※実情説明書の書き方について

応募組織は組織の応募の対象となる活動の概要をまとめた実情説明書を提出して下さい。

#### 1) 記述内容

- ①組織の概要・事業の概要
- ②活動のねらいとその特徴
- ③経営課題に関する状況の説明
  - 3.1 取り上げた経営課題の説明
  - 3.2 トップのリーダーシップ
  - 3.3 改善活動の概要
  - 3.4 標準化と日常管理の概要
  - 3.5 選択した個別重点項目の概要とその状況の説明

④得られた成果

⑤将来計画

上記のうち、1. については、組織の説明資料やパンフレットがある場合はそれで代用することができます。

得られた成果は応募組織で定めた課題の達成目標、及び「TQM活動の成果評価項目」に示す評価項目を参考にして評価項目を設定し、その項目について記述して下さい。

2) 様式

A4で原則 20 ～ 30ページ程度、横書き・左綴じ。各章の記述の仕方については特に定めません。内容に応じた適切な形式を用いて簡潔に記述して下さい。実情説明書の作成要領、作成例をウェブサイトに掲載していますので、参考して下さい。( <https://www.juse.or.jp/jqa/download/> )

## 2.3 応募の費用

応募に関する費用の目安は以下のとおりです。

費用項目	金額 (税込み)	備考
申込金	¥165,000	
書類審査	¥110,000	審査員 3 名分
事前打合せ	¥55,000	審査員 3 名分
本審査	¥1,347,500	審査員 3 名分、旅費は別途 (実費)
審査意見書作成料	¥110,000	審査員 3 名分
協力金	¥440,000	祝賀パーティー、新聞広告掲載費一部負担

※書類審査の審査料、審査意見書作成料、委員手当（審査準備会、事前打合せ、判定会議）は、担当する審査員によって前後する場合がございます。

※日科技連事務局の同行が必要となる場合には、事務局分の旅費・日当分を申し受けますので予めご了承ください。

※申込金につきましては、事務局から「請求書」を送付いたしますので、請求書発行日以後 1 ヶ月以内にお振り込み下さい。

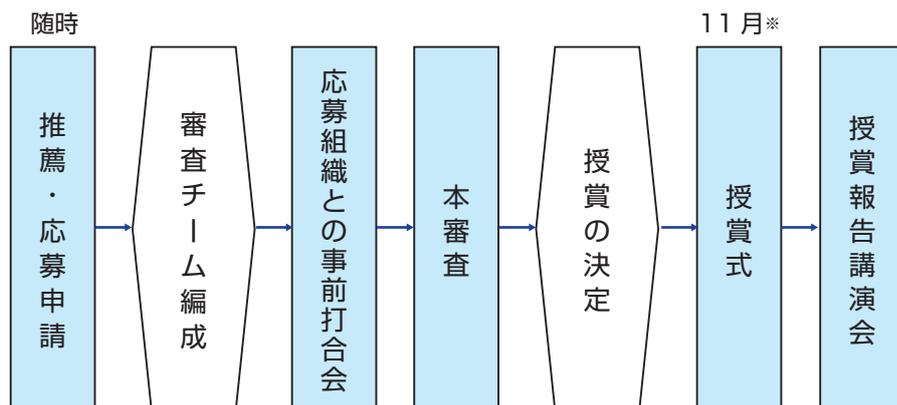
## 3 TQM 実践賞（革新賞）応募要領

### 3.1 応募（推薦）から受賞までの日程

応募から受賞までの日程は概ね以下の通りです。

2025年4月より申請受付を随時開始します。申請に応じて随時審査を行います。

授賞式および授賞報告講演会は年1回となります。



※授賞の決定するタイミングにより、授賞式が次年度となる可能性があります。

※授賞報告講演会は授賞式と前後する可能性があります。

### 3.2 応募の方法

応募の募集は随時行います。

次に述べる所定の様式に記入の上、事務局宛にメールにてお申し込み下さい。

- ① 「TQM 実践賞（革新賞）推薦・応募申込書」（ウェブサイトより様式3ダウンロード）
- ② 「内容説明書」（自由書式）

※内容説明書の書き方について

応募組織は組織の応募の対象となる活動の概要をまとめた内容説明書を提出して下さい。

#### 1) 記述内容

- ① 対象となるテーマ名称（仕組み・手法・思想の名称）
- ② 対象となるテーマを取り組んだチーム，部門，組織の概要
- ③ 対象となる TQM 活動要素
- ④ 対象となるテーマの内容説明
  - a) 背景・目的：なぜ取り組んだのか，その背景と目的
  - b) 活動：目的を達成するために実施した活動（仕組み，手法，ツール活用など）

c) アピールポイント (特徴) : 実施した活動の優れた点, アピールしたい点, 苦勞した点  
⑤成果 : 目的を達成できているか, 今後, その成果を継続的にだしていける仕組みになっているか.

⑥今後の課題 : その活動のさらなる発展に向けての計画, 展望

上記のうち, 1. については, 組織の説明資料やパンフレットがある場合はそれで代用することができます.

## 2) 様式

A4で原則10ページ以内, 横書き・左綴じ. 各章の記述の仕方については特に定めません. 内容に応じた適切な形式を用いて簡潔に記述して下さい.

### 3.3 応募 (推薦) の費用

費用は36万円 (税別) (申請, 審査, 表彰等の費用含む) です. 審査員の旅費は別途実費で申し受けます.

## 4 日本品質奨励賞専用サイトのご案内

TQM奨励賞およびTQM実践賞 (革新賞) の詳細はウェブサイトをご覧ください.

<https://www.juse.or.jp/jqa/>

## 5 お問い合わせ先

一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター 日本品質奨励賞担当

〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビルディング4階

TEL : 03-5990-5879 E-mail : iso-center@juse.or.jp